

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)								
事業名	麻しん排除対策推進費			担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課		結核感染症課 井上 肇	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	「麻しんに関する特定感染症予防指針」(平成19年厚生労働省告示第442号)			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「麻しんに関する特定感染症予防指針」(平成19年厚生労働省告示第442号)において、国は、麻しんが排除・維持されているかを判定し、世界保健機関に報告する排除認定会議を設置するとしており、また、厚生労働省は、関係機関との連携を強化し、国民に対し、麻しんとその予防に関する適切な情報提供を行うよう努めるものとするなどとしている。このため、麻しん発生時対応の更なる強化を行い、麻しんとその予防に関する普及啓発を実施し、麻しんの排除に向けた取り組みを推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。							
実施方法	直接実施							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	3	3	3	3		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	3	3	3	3	0		
	執行額	3	3	3				
執行率 (%)	100%	100%	100%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	定期予防接種の接種率を 95%以上にする	予防接種の接種率	成果実績	%	90.8	94.3	集計中	
			目標値	%	95	95	95	95
			達成度	%	95.6%	99.3%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	麻しん対策推進会議の開催回数	活動実績	回	1	2	1		
		当初見込み	回	2	2	2	2	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たり コスト	百万円	3	1.5	3	1.5
	X:「麻しん排除対策推進費執行額」 Y:「麻しん対策推進会議開催回数」		計算式	X/Y	3 / 1	3 / 2	3 / 1	3 / 2
平成27・28 年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	3						
	計	3	0					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高く国費を投入しなければ事業目的を達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	予算決算及び会計令により認められている少額随意契約	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続き消耗品等の抑制による節減を実施。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、真に必要な費目を対象経費としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶推進のための手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「麻しんに関する特定感染症予防指針」(厚生労働省告示422号)に基づく麻しん排除達成のため実施している。活動実績、成果目標達成度は見込みに見合ったものとなっており、平成27年3月、WHOにより日本における麻しん排除が認定された。			
	改善の方向性	今後は麻しん排除維持のための予算を確保する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0147	平成23年度	0118	平成24年度	0093
平成25年度	0104	平成26年度	0114		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 3百万円

麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。



A 民間会社(9社)
3百万円
内訳
会議費 0.7万円
ガイドライン等作成費 1.8万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)ロゼッタ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	麻しん発生時対応ガイドライン翻訳(日本語 →英語)	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.会議・ガイドライン等作成費用

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ロゼッタ	麻しん発生時対応ガイドライン翻訳(日本語→英語)	1	—	—
2	社会福祉法人 東京コロニー	麻しん対策関係資料印刷	0.5	—	—
3	(財)日本航空協会	麻しん対策推進会議室使用料	0.4	—	—
4	協新流通デベロッパー(株)	麻しん対策関係資料資料の送料	0.2	—	—
5	(株)ビー・スクエアード	麻しん対策推進会議費用	0.1	—	—
6	デンタルメディカルコミュニケーションズ株式会社	英文校正 麻しん排除認定報告書	0.1	—	—
7	(株)メロン	麻しん対策推進会議費用	0.1	—	—
8	扶桑速記印刷(株)	会議における速記	0	—	—
9	ファミリーマート	麻しん対策推進会議・排除認定会議消耗品	0		